

- 問1 下水処理場でしっかりときれいにした水は、どのような場所に利用されることがありますか。
- 問2 清掃工場で、ごみを燃やしたときに出る熱は、どのように利用されていますか。
- 問3 ごみを捨てるときに、スチール缶やペットボトルなどを種類ごとに分けて出す「分別（ぶんべつ）」をするのはなぜですか。
- 問4 ごみを減らして地球の環境を守るための取り組みとして、リデュース・リユース・リサイクルに、「いらないものを断る」という意味の「リフューズ」を加えた4つの考え方を何と呼びますか。
- 問5 使わなくなった服を、ごみとして捨てるのではなく、必要としている人に譲るような、形を変えずに繰り返し使う取り組みのことを何と言いますか。
- 問6 家や学校で使ったあとのよごれた水は、どこへ運ばれてきれいにする処理がおこなわれますか。
- 問7 新聞や雑誌などの紙類を正しく分別して出すと、何に生まれ変わることが多いのでしょうか。
- 問8 川から取り入れたばかりの水は、そのままでは飲めません。安全に飲めるようにするために、水をきれいに処理する施設のことを何といいますか。
- 問9 ごみとして捨てるときに、商品や容器包装についている「リサイクルマーク」を確認することには、どのような理由がありますか。
- 問10 水の流れを利用して電気を作る方法を何と言いますか。
- 問11 工場で機械を冷やすために使った水を、繰り返し使う取り組みには、どのような目的がありますか。
- 問12 リユースを進めることで、どのような良い効果がありますか。
- 問13 発電所でつくられた電気を、家庭や工場に届けるために電圧（電気の勢い）を下げる役割をしている場所はどこでしょう。
- 問14 清掃工場でごみを燃やしたあとに残る「灰」は、最終的にどうなりますか。
- 問15 しゅう集車が家庭から集めたごみを、最終的に清掃工場へ運ぶのはなぜですか。
- 問16 エネルギー源を燃やして、その熱で電気を作り出す方法を何と言いますか。
- 問17 原子力発電で、電気を作るための燃料として使われるものは何ですか。
- 問18 使い終わったものを、一度分解したり溶かしたりして「原料」に戻してから、新しい製品に作りかえることを何と言いますか。
- 問19 浄水場では、水の中の小さな汚れを取りのぞくために、砂などの層を通してきれいにする「ろ過」という作業を行います。では、きれいになった水を各家庭に届ける直前に一時的にためておく場所を何と言いますか。
- 問20 清掃工場でごみを燃やすとき、空気中に有害な物質が広がらないようにするために、どのような工夫をしていますか。